

TOMMYKAIRA

RRのバッジは エコスポーツの証

photo: MORIYAMA Yoshio text: HOSHIBA Masanobu
撮影協力: トヨタ博物館

トミーカイラ・ジャパン Tel.0565-52-8555
<http://www.tommykaira.com>

Hybrid
Vehicle
Styling X Tuning



高い製造精度によって実現された 純正パーツに匹敵するフィット感！

しばしの充電期間を経た09年夏、待望の活動再開を果たしたトミーカイラは、いまさらそのブランドストーリーに触れることが求められるほどメジャーな存在だ。電撃復活からラインナップ拡充へと現在フル加速の体勢に入っている、そんな「新生」トミーカイラがハイブリッドモデルへアプローチするにあたり、掲げたコンセプトは「エコでありながらレーシー」。言葉の上では相反しているながらも、忠実に具現化することでその難解なテーマにすら説得力を持たせてしまうあたりは、さすが一日の長とも言えるべきか。ともあれチューナーとしての腕にブランドが感じられないことは、この2台のプリウスを見れば明白だろう。

出しゃばることなく個性を主張するスマートなデザインもさることながら、かつての製品がそうであったようにエアロパーツの高い設計クオリティもトミーカイラが持つ魅力のひとつと言える。たとえば、バンパーへ被せるだけで曲面上のラインにビタリと合致する前後のスポイラー。フィッティンググレス……つまりは装着にあたっての手直しや隙間を埋めるゴムが不要という、一見当たり前のようにいて実は難しい芸当を、軽々とクリアして見せる。一方、サイドステップは交換式としながらも、純正ビスホールをそのまま使用するなどの工夫によって悪い意味での後付け感を払拭。かように、この洗練されたたまたまは高い製造精度によって成り立っているのである。

トータルコーディネートを標榜するブランドらしく、車高調式サスペンションの装備など走行性能のスペックアップにも抜かりはない。RR（ダブルアール）のバッジが与えられたプリウスは、復活を待ち侘びたトミーカイラファンに高い満足感をもたらす新たなスタンダードとなるだろう。





フロントスポイラー（ウェットカーボン製）は素地仕様で7万6650円。リヤハーフスポイラー（ウェットカーボン製）は素地仕様で8万4000円、塗装済みは9万6000円。素地仕様のフロントグリル（ウェットカーボン製）は3万8850円、フロントダクトカバー（ウェットカーボン製）も同じく素地仕様で3万1500円となる。別項で紹介するサイドステップを含めたキットでの販売も行われており、上記5アイテムの素地仕様は29万9250円。その他さまざまな組み合わせがあるので、詳細はメーカーまで。

TOMMYKAIRA X PRIUS

ふたつの仕様が用意されるプリウスRRにおいて、ウェットカーボンをふんだんに用い、レーシーなイメージを強調する「カーボンスタイル」がこちら。エッジを効かせた複雑なデザインやリーズナブルな価格を実現するためFRPをベース素材としているが、十分な厚み、そして丁寧な造形によりABSやウレタンに勝る質感の高さを実現している。前後スポイラーとサイドステップの表面には、ウェットカーボンを丁寧に重ねてメリハリのあるスポーティムードを演出。素地仕様のほか、写真のように部分的なペイントを施した製品も用意されるが、トヨタの認証を受けた塗装会社と提携することで、完全な純正色に仕上がっているなど、徹底した品質向上への取り組みはユーザーにとって嬉しい限りだ。老舗らしい販売網の広さも魅力で、全国のカー用品店はもとよりトヨタディーラーで購入することも可能。前述のとおりフィッティング不要の高い製造精度を誇るため、塗装済みの商品であればそのまま装着できるので安心だ。

ルーフスポイラー (FRP製) は素地仕様で3万9900円、塗装済みが4万8300円。素地仕様のサイドステップ (ウェットカーボン製) は素地仕様で8万7150円、塗装済みは10万1850円。ホイールはJulius (F/R: 18×7.0+53)、タイヤはDNAアース1 (215/40R18) を装着 (1台分28万3500円)。「TOMMYKAIIRA」の新ロゴエンブレムはゴールドが1万500円、クロームが5040円。ちなみに「RR」エンブレムについては価格未定。リヤハーフスポイラーはボディ下部後方をすっぽりと覆い、整流効果を持たせたディフューザーとしての機能を兼ねる。4本出しとなるデュアルレイアウトのオールステンレスマブラーはテールエンド部にスライド機構を持たせ、長さを調整することが可能。価格は12万6000円で、非スライドタイプは11万2500円。フロアマットはブラックをベースにレッド、ブルー、ブラックと3タイプの組み合わせが揃い2万9400円。写真のブラックのほか、シルバーやブルーなど全6色のラインアップとなるレアル製カーボンステアリングは4万9800円。



Hybrid Vehicle

Styling X Tuning



ウェットカーボンを素材として使用する「カーボンスタイル」に対し、この「ドレスアップスタイル」はFRP製とすることで価格を抑えていることが特徴だ。とはいえデザインは共通なので、やや大人しい雰囲気にはなるが、ボディ同色に仕上げたいユーザーにとってはこちらがベターな選択となりそう。フロントスポイラーは素地仕様で6万900円、塗装済みが7万3500円。フロントグリルは素地仕様で2万9400円、塗装済みが3万4650円。サイドステップは素地仕様で7万1400円、塗装済みが8万6100円。リヤハーフスポイラーは素地仕様で6万8250円、塗装済みが8万850円となる。ホイールは鍛造のSuper Eco Sports (F/R: 16×6.0+45)、タイヤはDNAアース1 (205/55R16) を装着 (1台分28万9800円)。トミーカイラは現在、プリウス専用のカタログを製作中。完成次第ウェブサイトからのダウンロードが可能となる予定なので、希望者は要チェックのこと。



機能パーツも補完!!



エアロなどのドレスアップパーツのみならず、ブレーキやサスペンションなど、走りの面でもプリウスに磨きかけたいユーザーはこちらも必見。コントロールな制動力が得られるブレーキパッドはフロント用で1万2600円。「カーボンスタイル」に装着されている車高調キットは現在開発中ながら、「ドレスアップスタイル」に組み込まれているローダウンスプリングはすでに製品化されており、価格は3万7800円。バネレートはフロント2.7kg、リア3.2kgで、ダウン量は30～35mm程度となる。

